

—ボケ—



ボケの花



ボケの葉



ボケの幹と蕾

・ボケ *Chaenomeles speciose* (Sweet) NAKAI (*Chaenomeles legenaria* KOIDZ)

バラ目バラ科サクラ亜科リンゴ連ボケ属、薬用部位は果実(偽果)で、木瓜(モッカ)という。鎮咳、利尿、収れん、強壯の用途で用いられ、鶏鳴散加茯苓などの漢方に用いられる。成分としてリンゴ酸、クエン酸、サポニン、タンニンなどを含む。

中国原産、落葉低木、高さ2 m内外、幹はなめらかでとげ状の小枝がある。葉は楕円形あるいは長楕円形、鋭頭、基部は楔形、ふちにかすかにきょ歯がある。花は単生または数個集まり、径2 cmほど。花柄は短かく有毛、がくは無毛で筒状または鐘形、5裂し、裂片は直立し、円頭。花弁は円形または楕円形で小花爪をもつ。

成分としてリンゴ酸、酒石酸、クエン酸などの有機酸、サポニン、タンニン等を含む。鎮咳、鎮痛作用を有する。

2019.4.19 4YM YH